

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公開番号】特開2019-150525(P2019-150525A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2018-40112(P2018-40112)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な有利遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技機枠の上部に配された固定装飾体と、

前記遊技機枠における前記固定装飾体の前方に配され、所定の初期位置から当該初期位置よりも上方の移動位置に移動可能な可動装飾体と、を備え、

前記固定装飾体は、前面側に所定の表示部を有し、

前記所定の表示部は、前記可動装飾体が前記初期位置から前記移動位置に移動した場合、前記可動装飾体が前記初期位置にあるときよりも遊技者から視認し易くなるものであり

、前記演出実行手段は、非特定演出と前記非特定演出よりも前記有利遊技状態に制御される期待度が高い特定演出とを含む複数の演出の中から発展先を示唆する発展演出を実行可能であり、

前記可動装飾体は、前記発展演出において前記特定演出への発展が示唆されてから前記移動位置に変位することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記可動装飾体が前記移動位置に移動するとともに前記所定の表示部が視認しにくくなつた場合には、前記可動装飾体が前記移動位置に移動しなかつた場合よりも、前記有利遊技状態に制御される期待度が高いことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の遊技機であって、

前記可動装飾体は、当該可動装飾体の動作とは異なる所定の動作を行うことが可能な特定の可動部を備えており、

前記可動装飾体が前記移動位置に移動する場合、前記特定の可動部が前記所定の動作を行うことがあることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項3に記載の遊技機であって、

前記特定の可動部は、所定の発光色で発光可能な特定の発光部を備え、

前記可動装飾体が前記移動位置に移動する場合、前記特定の可動部が前記所定の動作を行うとともに前記特定の発光部が前記所定の発光色で発光することがあり、

前記特定の可動部が前記所定の動作を行うとともに前記特定の発光部が前記所定の発光色で発光した場合には、前記特定の可動部が前記所定の動作を行わず前記特定の発光部が前記所定の発光色で発光しなかった場合よりも、前記有利遊技状態に制御され易いことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

遊技者に有利な有利遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技機枠の上部に配された固定装飾体と、

前記遊技機枠における前記固定装飾体の前方に配され、所定の初期位置から当該初期位置よりも上方の移動位置に移動可能な可動装飾体と、を備え、

前記固定装飾体は、前面側に所定の表示部を有し、

前記所定の表示部は、前記可動装飾体が前記初期位置から前記移動位置に移動した場合、前記可動装飾体が前記初期位置にあるときよりも遊技者から視認し易くなるものであり、

前記演出実行手段は、非特定演出と前記非特定演出よりも前記有利遊技状態に制御される期待度が高い特定演出とを含む複数の演出の中から発展先を示唆する発展演出を実行可能であり、

前記可動装飾体は、前記発展演出において前記特定演出への発展が示唆されてから前記移動位置に変位することを特徴とする遊技機である。